

# リノベーションの取組み

12

## まちを変える取組「リノベーション」とは？

今ある素材（建物など）を活用する  
新しい使い方を考える  
採算がとれる事業として継続する

北九州市の事例（三木屋） リノベーションスクール@北九州で実現



レンタルスペース・カフェとして営業

古い空き物件 + 必要最低限の改修

= 【安い賃料】 + 【小さな初期投資】 = 収益性確保！



面白い人が面白いことをできる まち へ

サレガマ



ho-ho

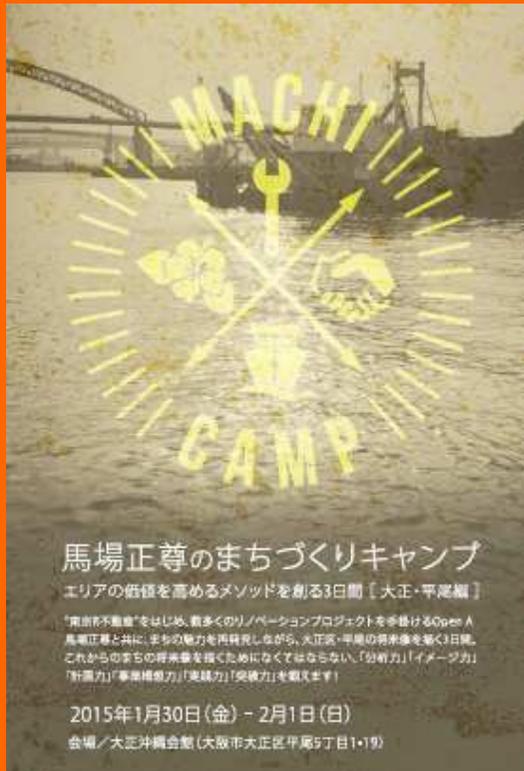


地酒蔵大阪



## 馬場正尊のまちづくりキャンプ

～エリアの価値を高めるメソッドを創る3日間【大正・平尾編】～



2015年1月30日～2月1日  
 大正沖繩会館にて

「東京R不動産」をはじめ、数多くのリノベーションプロジェクトを手がけるOpen Aの馬場正尊氏と共に、**大正区・平尾エリアの魅力**を再発見し、**まちの将来像を描く**3日間のプログラム。

- 1．商店街再生戦略コース
- 2．小さなカフェプランニングコース
- 3．リノベプランニングコース
- 4．本気のセルフリノベコース

# DIYによるリノベーション

ビルの空きスペース

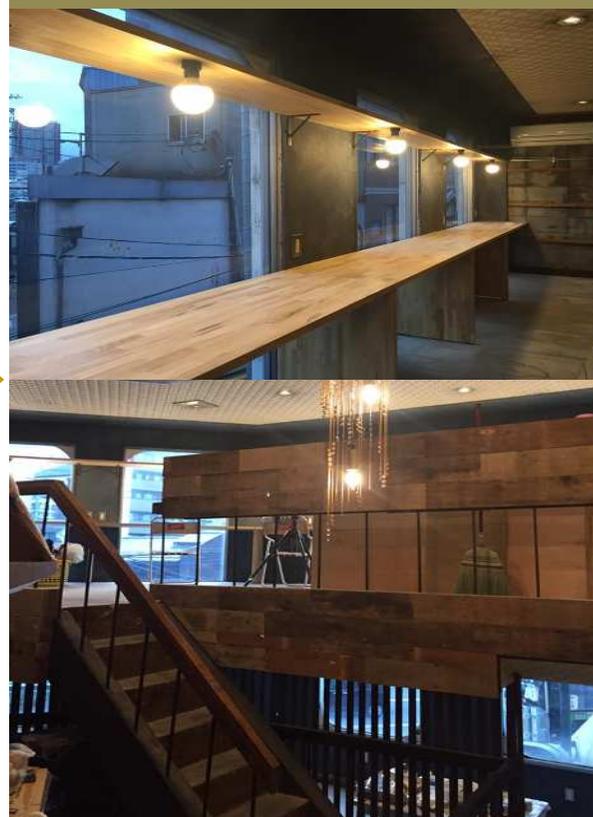
BEFORE



DIY

カフェ+シェアオフィス

AFTER



7.16  
OPEN  
TAISHO  
DOCK



民間事業者（建築事務所等）がユニットを組み、  
**大正・港エリア空き家活用協議会（We Compass）**が発足

# 「水辺エリアの活性化」 = 「公共空間のリノベーション」

## 水辺エリア(尻無川河川広場周辺)の概要



### 今ある素材（建物など） を活用する

- ・ 200万人集客（京セラドーム）の受け皿をつくる
- ・ 「下町」「秘密基地」感を活かす

### 新しい使い方を考える

- ・ 立入り禁止の河川敷を特区指定で店舗・クルーズ展開を可能にする

### 採算がとれる事業として 継続する

- ・ 補助金を出さず、事業者による常設運営にする

## 社会実験事業「Taishoリバービレッジ」の結果

BEFORE



AFTER 1



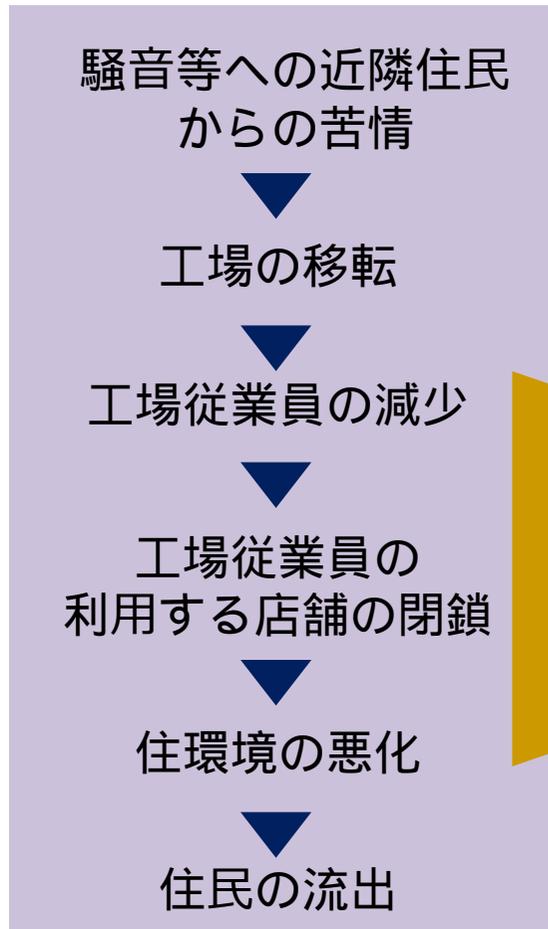
AFTER 2



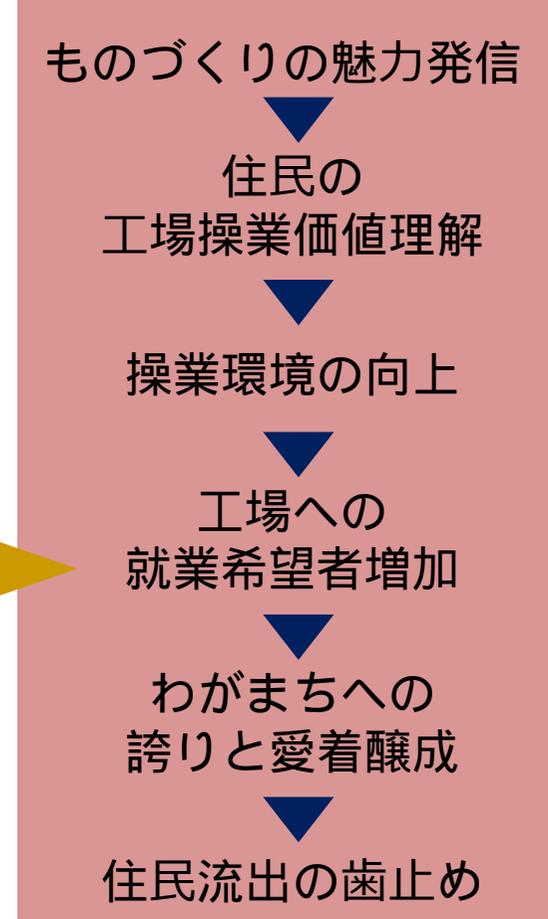
		BBQ レストラン	クルージング	屋台エリア	計
第1期 (6/6~7/7)	来場者数	延べ5,707人	262人	延べ12,608人	延べ18,577人
	売上額	8,869,300円	590,000円	5,327,520円	14,786,820円
第2期 (7/8~10/18)	来場者数	延べ1,963人	0人	延べ3,916人	延べ5,879人
	売上額	5,256,200円	0円	2,179,850円	7,436,050円
通期合計	来場者数	延べ7,670人	262人	延べ16,524人	延べ24,456人
	売上額	14,125,500円	590,000円	7,507,370円	22,222,870円

# ものづくり企業の魅力発信事業の実施へ

## 負の連鎖



## 好循環へ転換



好循環へ

製造業からみたまちの連鎖

ものづくりフェスタの実施(H25～)

区内の小中学生及びその保護者の方をメインターゲットとして、出展企業がチームを組んで、大正区の「ものづくり」の素晴らしい技術を分かりやすく紹介する体験型イベントです。

区民の方には大正区の「ものづくり」に誇りを持っていただき、出展企業の方にはネットワーク形成に役立てていただいています。

この結果、フェスタに参加した高校生の出展企業への就職や出展企業間の商取引がスタートしています。

【来場者数 H25:約700名 H26:約800名 H27:1001名】



修学旅行生の受入れ事業(H28～)

ものづくりを  
誇りに思えるまちへ

全国初  
～修学旅行コーディネート事業をスタート～

平成25年度から、ものづくり企業、地域・行政が一体となり、まちの活性化に取り組んでいます。今年度は、全国から大阪を訪れる修学旅行生を区内の工場見学に案内する事業を本格的にスタートしました。区民の皆さまが「ものづくりのまち大正」を誇りに思えるよう、大正区から全国へ「ものづくりのまち大正」を発信していきます。

オープンファクトリーの実施(H27～)

- ・区内の工場を一斉に開放する西日本初の試みを実施
- ・実施日時:11月6日(金)・7日(土)  
午前3コース、午後3コース 計6コース/日
- ・参加企業17社 受入人数 延べ188名

